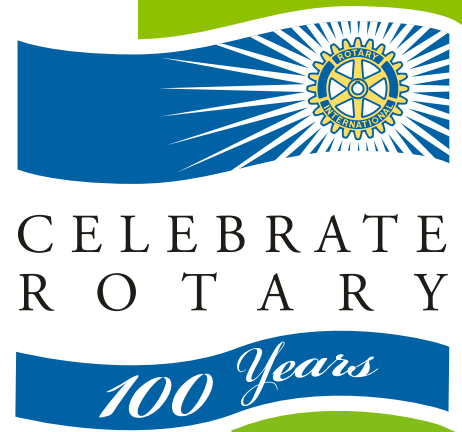


国際ロータリー 第2510地区
2004-2005年度

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER	3
ガバナー日記	4
11月はロータリー財団月間です	10
ロータリー財団国際親善奨学金委員会から3つのお知らせです	11
財団学友会の活動	13
研究グループ交換(GSE)プログラム	14
人道的補助金プログラム	15
RJW全体会議報告	17
新潟・福井災害義援金報告 地区世界社会奉仕委員会からのお願い	18
米山記念奨学生紹介	19
RI 100年記念国際大会	20
ハイライトよねやま56	22
ロータリー文庫通信 ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	24
会員投稿 ・ポリオ撲滅の問題点	25
・「RC 100年記念海外野外例会韓国旅行」	26
こんにちは! 第10グループです	27
掲示板 国際ロータリー為替レート通知についてのご連絡 ガバナー事務所からのお願い	28
9月会員増減数・出席率報告	29
新入会員のご紹介/訃報	30
11・12月地区カレンダー	31

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.5 11
2004.

国際ロータリー第2510地区 2004-2005年度

会員の皆様、地区大会へ各地域からのご参加 感謝申し上げます。



地区大会は天候にも恵まれて10月16日～17日の2日間、登別市の祝いの宿 登別グランドホテルと日本工学院北海道専門学校そして第一滝本館の3会場で総計1,644名が集まり、開催された。

R Iの「ロータリーを祝おう」のテーマのもと、地区大会テーマに「奉仕の第二世紀へ」を掲げ、ロータリーを見つめ直す機会ともなった。



地区大会特集は12月号に掲載！！

Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

ロータリー財団月間に考えること

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



ロータリー財団は、我々が加盟参加している国際ロータリーの奉仕活動の大きな1本の柱をなしています。その資金は、会員等の寄付金でまかなわれています。2002～03年度には、13,300万ドル以上の寄付を受

け、クラブや地区が実施する人道的及び教育的プログラムを支援するために9,400万ドル以上を支給しました。

私達の地区でも、人道的プログラムとして、識字率の向上、医療や福祉、水問題その他に援助をしています。教育的プログラムは国際理解を推進することを目的として、国際親善奨学生や世界平和奨学生を援助していますし、研究グループ交換(GSE)の実施も継続しています。これらを経験した人達で組織された財団学友会がありますが、10月16日に行われた地区大会第1日に学友の皆さんによる記念フォーラムが当日参加されたロータリアンの皆さんに感銘と御理解を得られたと思います。

カルロ・ラビッツアロータリー財団管理委員会委員長のお話では、今日、世界で40億人もの人々が1日2ドル未満で生活を余儀なくされており、推定6億～10億の人達が栄養失調で毎日2万人が餓死している。世界人口の6分の1、ほぼ10億がスラム街に住んでいる。推定8億8,000万人の成人が読み書きが出来ず、その3分の2は女性である。安全な水が飲めない人が10億人

いるため、発展途上国の人口の半数が汚染水による病気を患っている。また、現在、世界では20件以上の武力紛争が続いており30万人もの子供が犠牲になっていると報告されました。ポリオ根絶も大詰めを迎えています。1985年以来20億人以上の子どもたちがポリオの予防接種を受け、ポリオの発生が99%以上低下しました。患者数も700人弱となっていますが、ワクチン投与に手を抜くとたちまち汚染国は広がってしまう危険性ははらんでいます。

これら多くの諸問題に何故ロータリーが手を借す必要があるのでしょうか。統治能力を失った国、発展途上国に問題解決の力がないとすれば、166ヶ国、120万人以上の会員を持つ世界最大の奉仕団体が、国連や世界各国と協力して手を借すべきだと思います。我々ロータリアンは、世界理解と平和を達成しようと努力する国際ロータリーの一員だからです。

私も秋の夜長を静かにロータリアンであることを噛みしめたいと思います。



ガバナー日記

9月9日(水) 北広島RC創立25周年記念式典及び祝賀会にお招きを頂いた。午前中に行われる予定であった記念ゴルフコンペは台風18号のためコース内倒木により中止となったと伺った。参加予定の皆さんは、さぞ残念のことと拝察申しあげる。6:30pmから式典が行われ、斎藤潤会長から25周年の素晴らしい活動実績が報告された。会員数は少ないが纏りと活動力のあるクラブで感心した。

引き続き行われた記念コンサートはピアノ土肥睦子さん、独唱板垣恵さん、共々道産子で北広島市と縁があり、張りのある、そしてまろやかなソプラノと繊細な音色に聞きほれてしまった。その後祝賀会が行われたが、スポンサークラブの札幌幌南RCからは遠藤正之PGをはじめ11名、第7グループからは佐藤秀雄PGをはじめ約90名のご参加があり、和やかで楽しい雰囲気うちに終了した。北広島プリンスホテルの最上階から眺める広大な夜景も大変素晴らしかった。

9月11日(土)~12日(日) RYLAセミナー・シニアクラスがR研修センターで行われた。今年のテーマは「人権について考える」。第1日目は私は出席出来なかったが、高橋剛先生の「ハンセン病を知り偏見や差別をなくそう」で、長い隔離政策による被害に参加者はショックを受けた様であった。第2日目は意見発表、グループディスカッション及び発表が行われた。障害者人権、偏見、外国人の就労問題(サービス残業、賃金の未払い)、社会保障の

権利、外国の実情等幅広い討議が行われた。参加者はロータリーアクト、国際親善奨学生、米山奨学生、学友21名、ロータリアンを含め54名であった。

9月14日(火) 6:30amに自宅を発って函館に向う。2日間で11クラブの会長、幹事、会長エレクトの皆さんと懇談し、4回の合同例会に出席することを考えると緊張してしまう。函館国際ホテルで吉川達也第11グループガバナー補佐の御出向えを頂き予定通り10:15am、函館東RCから始める。鍋谷会長はグループ内初の女性会長で、今春まで地区財団学友委員長を務めておられたので久知の間柄で緊張がほぐれた。「広めよう奉仕心」をテーマに会員増強に力を入れられておられる。7月6日に7名の新入会員が入会されたと聞いて驚いた。国内3クラブと友好関係にあり、ロータリーアクトを育てている。また、「いさり火」護岸壁の壁画が8年経過し、傷んで来たので書き換えを計画しておられる。

函館五稜郭RCはインターアクトクラブを育て、函館東RCと同様、独自の奨学金制度で学生を支援しておられる。地域に対しては市民と一緒に野外劇や五稜郭パレードに参加し、とけ込んでおられる。函館北RCは社会奉仕に力を入れ、ガーデニングコンテスト、イルミネーションコンテストを行ったり、会員によるハワイアンバンドで老人ホームを慰問、洞爺丸慰霊碑清掃奉仕を続けたり、月2回食費を切りつめて奉仕活動に廻すなど考えた活動を行っておられる。3クラブ合同例会後、吉川ガバナー補佐、鍋谷会長のご案内で数100メートルの壁画を見せて頂いた。子どもらしい自然の風景や魚が明るく、のびやかに書かれてあり美しかった。

4:15pmから再び吉川ガバナー補佐と御一緒に上磯RCから会長・幹事会を行う。カナダと交換学生による交流、GSEチームの受け入れと活躍。地域に対しては薬物乱用防止のため中学生と一緒に募金活動を続けておられる。会



No. 11

Date 04. 11. 1

長テーマは「楽しい例会にしましょう」で、出席率の向上に努められておられる。

江差RCは平成14年6月に創立40周年を迎えた伝統のあるクラブであるが、過疎化により会員数の減少に悩んでおられる。しかし、古い歴史のある町であり先人の残した文芸遺産に対し、菅江真澄調査事業を松前RCと長万部RCと交流しながら進め、町の発展に寄与したいと考えておられる。

松前RCは会員数9名に減少しクラブ運営に苦慮しているが、出席し易いように夜間例会を実施しておられる。松前町の名所である桜の木の保存に力を入れ、またゴローニン幽閉の地慰霊碑建立計画を持っておられ、地域に根ざした活動を行っている。3クラブ合同例会後、函館東RCの幹事の皆さんと素晴らしい夜景を楽しみながら美味のワインをご馳走になりロータリー談義に花が咲いた。函館泊。



9月15日(日)、今日は第10グループの公式訪問である。加藤直樹ガバナー補佐と御一緒に11:00 a mから函館ホテルオークランドで函館RCから会長・幹事会を始める。道内3番目に誕生したクラブで、今年10月25日に70周年記念式典を予定しておられる。会員数も99名で地区内4番目に多いクラブで安定した奉仕活動しておられる。クラブ奨学生制度は40年で150名余の奨学生を排出し、1名はロータリーアンになっておられる。70周年記念事業として別荘で10名位3年間世話をする奨学生を育てる計画を持ち、口

ロータリーアクトクラブと共に青少年の健全育成に力を入れておられる。また、小・中学生、女子の参加チームとロータリーアンを含むタグラクビー大会も盛大に主催しておられるし、「エゾヒキガエル」の保護や「パードサンクチュアリー事業」を市民参加で実施、更に福祉施設のご老人と一緒に競馬観戦を楽しみ地域社会に貢献しておられる。

函館亀田RCは9年間エリア内の小学生チームのサッカー大会を支援、子供奉仕委員会の支援等、子どもの健全育成に力を入れている。地域社会に対しては会員夫人の良き指導と涙ぐましい努力により亀田RC亀琴社中を立ちあげ各所に慰問披露しておられる。国際奉仕としては、北海道国際交流センターに国内留学生が研修に来るが、会員その他に2週間のホームステイを呼びかけて協力しておられる。2クラブ合同例会後は台風の影響で函館山の樹々が変色していて心配したが、道内でも最も私の好きな風景である、七飯の松並木を堪能して次の訪問地大沼プリンスホテルに向った。

4:00 p mから再び加藤ガバナー補佐と御一緒に七飯RCから公式訪問を始める。最近の5年間で12名の会員減で現在24名。クラブ運営に苦慮しておられるが、例会は夜間で楽しい例会を心掛けておられる。目下大沼小学校開校100周年をひかえ、有効な奉仕活動を計画しておられる。



森RCは家族を含めた親睦活動に重点を置いている。創立40周年記念事業として砂原町に大型テントを、森町にはソーラ時計を寄贈。また、交通安全ホタテ祭りを実施し、平成16年3月20日には40周年記念式典を行っておられる。今年度は親睦活動を重点に会員増強に力を入れており、交換留学生の受け入れにも協力していただいている。

長万部RCは地域経済の低迷から会員数13名の小さなクラブであるが、会員の親睦と社会奉仕に努力している。高齢者や独居老人のために月1回温泉入浴送迎奉仕を12年も続けて感謝されている。3クラブ合同例会はごちんまりとした和やかな例会であった。2日間とも日中は上着の必要ない気温であったが、帰路静狩峠付近では気温8の標示がありびっくりした。

9月18日(土)~19日(日) NTTセミナーセンターでRYLAセミナージュニアコースが実施された。参加者はインターアクト交換留学生等41名、顧問教員、ロータリアンを含めると74名であった。私は第2日目だけ参加させて頂いた。テーマはシニアコースと同じ「人権について考える」で、講演は教育大学の戸田まり子先生で人権と児童虐待についてお話し頂いたが、これは家庭内の人権問題でありネグレクトが最も多く、次いで身体的虐待が多い。また実母の虐待が63%もあり、虐待を受けた子供への影響は大きいし深刻である。また誰でも悪条件が重なれば、虐待する大人になり得るのであり、特異な人があるのではない事を強調された。インターアクターや交換学生の意見発表は、難民問題(日本は受け入れに協力していない)、いじめの問題、子どもの人権問題、社会的性差の問題など多岐に亘って活発に発表されていた。

9月21日(火) 第9グループ鈴木久雄ガバナー補佐と御一緒に洞爺湖万世閣で公式訪問、伊達RCは道内では取り分け温暖で古い歴史と伝統の町にあり国際奉仕、社会奉仕、

クラブ奉仕に安定した活動をしている。地区野球大会への常連クラブで過去2回全国RC野球大会に駒を進めている。伊達市は火の山有珠山をかかえているため、クラブ内に防災ボランティアリストが組織されている。活動の場のないことを祈るのみであるが、備えあれば憂いなしということであろう。

洞爺湖RCは2度の有珠山噴火で大きな被害を受け人口減によって会員数も10名にまで減少してしまった。三浦会長も3回目の会長職で御苦労なことである。僻地校である花和小学校と長い交流を持ち、イモ作り、収穫祭を子供達と一緒にいき一部は「ねむの木学園」に送られている。また有珠山の火口群を展望する場所に鳥瞰図を設置する計画がある。合同例会は私と同じグループの会員同士で気安さもある反面気恥ずかしさもあり複雑な心境であった。



9月27日(月) ロータリーの友委員会によるガバナー座談会が東京プリンスホテルで行われた。テーマは「日本のロータリーの活路」。出席者はD2530山崎栄一、D2540田口幸正、D2820永井靖彦、D2780松宮剛、各ガバナーと私の5名で、司会は「友」顧問鈴木正二バスターガバナーであった。日本のロータリーは、RIに大きく貢献しているが、その地位は決して高いとは言えない。100周年を機に、日本のロータリアンが発言することが期待される。その布石、活動について話し合った。「友」12月号に掲載される予定になっている。

No. 13

Date 04. 11. 1

9月28日(火) 6:30 a mに出発し、第8グループの公式訪問に向った。蘇田又栄ガバナー補佐と御一緒に浦河ウエリントンホテルで浦河RCから会長・幹事懇談が行われた。H8年に57名まで増えた会員が現在41名に減った。親睦と奉仕活動の活性化をはかり増強に努めたいと砂原会長は決意を述べられた。地域社会には無人駅周辺の草刈り障害者のリハビリ用に乗用馬を寄贈、施設児童をXmasの際バーベキューパーティに招待している。台湾中壢RCと3年毎に相互交流されている。



えりもRCは年1回パークゴルフと懇親会を通して様似RCと交流を持っている。地域に対しては春と秋にクリーン作戦を実施、新聞折り込みで周知し、一般の人達も70~80人参加するそうである。また地元の少年野球大会を行っているが、地区外の広尾町からも2チームの参加がある。更に少年サッカー大会も考慮中であると伺った。

様似RCは人口6,000人弱のエリアで会員増強には頭を痛めている。今年は社会奉仕と広報活動を重視し会員に戸外に出ようと呼びかけ合っている。移動例会を多くしアボイ樹木園で子供たちと木工作りをしたり、様似八景ウォーキングの清掃、伏木田光男美術館探訪を実施している。3クラブ合同例会後、JRA軽種馬育成調教センターを見学させて頂いた。広大な敷地の中に育成調教に必要な施設が完備されており、その上段にある2,400m走コースからの眺めは1幅の絵にふさわしく気持ちがいやされた。一部観光客にも開放されており好評のようである。夜は蘇田ガバ

ナー補佐をはじめ浦河RCの幹事の方々に会食ご馳走になり、ロータリーや馬の話で楽しい会であった。浦河泊。

9月29日(水) 静内ウエリントンホテルに移動。昨日に引き続き蘇田又栄ガバナー補佐のご協力を頂いた。静内RCは8月に新入会員が2名あり、71名になった。クラブ自慢は年齢差を越えた厚い友情と競走馬関連の会員が多くレース優勝でニコニコボックスが集り易いとのこと、またRC野球大会に熱心で4回甲子園出場果たしている。ロータリー財団、ポリオプラスの協力と積極的である。

細川好弘地区新世代委員長の出身クラブであり、インターアクトクラブの支援、桜舞サッカーフェスティバルや小学生バレーボール日胆大会を行っている。またカンボジア、ベトナムの子供達に学用品を贈るプロジェクトに参加しておられる。

昆布で有名な三石町の三石RCも人口の半減で会員数が20名を切ってしまったが、やっと落ち着きを取り戻し、クラブ例会も明るくなり活発になって来たとのこと。ロータリー文庫寄付や特養「蓬莱荘」周辺へ桜やムラサキツツジの植樹、少年野球大会の共催、子ども絵の会への支援等、地域社会への奉仕活動を地道に行っている。2クラブ合同例会後、インターアクトクラブがある静内高校(18名)と静内農業高校(8名)2校の校長先生と懇談したが、協力体制がよく出来上がっている。2校のIACを統合し静内IACとする計画を持っておられる。



10月1日(金)~3日(日) 第2500地区大会が網走セントラルホテルと網走市民会館で盛大に行われた。R I会長代理関場慶博氏(D2830弘前RC)、ガバナー牧野了泰氏(美幌RC)、ホスト美幌RC、コ・ホスト網走RCで登録人数は1,470名であった。

大会第1日目、R I 100周年記念親睦ゴルフ大会、地区諮問委員会、ガバナー補佐会議、R I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会。



大会第2日目、会長・幹事会・地区財団セミナー(R財団地域コーディネーター井岡俊彦氏講演)本会議1日目(記念講演「ロータリーの職業奉仕」D2750川尻政輝氏)、懇談会。

大会第3日目、本会議2日目(特別講演 一般市民開放「僕の野球人生」元読売巨人軍水野雄仁氏)、地区外の参加者は姉妹地区のD3590元東桂総裁他9名、私達夫妻とD2540地区幹事織山氏で私共の地区から参加者がなかったのが淋しかった。



10月4日(月) 今日から2日間第7グループの公式訪問である。北広島プリンスホテルで大谷恵一ガバナー補佐のお出迎えを頂き、北広島RCから会長・幹事会を行う。9月9日に25周年の記念式典を終えたばかりで奉仕活動はこれからになる。継続事業の植樹や桜のメンテナンスは終了した。



恵庭RCはこの5年間大きな会員数の変動はない。新世代を対象にした社会奉仕活動に力を入れている。小学生の相撲大会、中学生の野球大会、高校生には交換留学生、また親善奨学生の派遣、米山奨学生の受入れ等積極的に行っている。これらの資金は独自に「歯車募金」(青少年育成資金)をご活用しておられる。また日本赤十字の献血には家族も含め88名が参加している。

長沼RC、会員数は少ないがR財団や米山奨学基金に対する貢献度は非常に高く感謝を申し上げる。14年間国際交流フェスティバルを実施して町内にすっかり定着し、留学生のホストファミリーを町民が心よく引き受けてくれるまでになっている。

由仁RCは会員数15名であるが、新世代を中心に社会奉仕活動を行っている。青少年交換は取り組んで5年になるが今後も交換事業には力を注いで行いたいと考えておられる。景色の良い会場で4クラブ合同例会が行われた。2:30 pm、開設されたガバナーエレクト事務所を訪問しお祝いを申し上げる。8:30 pm千歳空港にGSEチームのお迎え、今回はタイ国D3350からチームリーダー、ソンプ

No. 15

Date 04. 11. 1

ーン・パンヤシリ氏以下チコムさん、アップルさん、ナンさん、アンさんの4名が元気に到着された。札幌へ移動してロイトン札幌で10:30 p mから簡単なウエルカムパーティを開き心から歓迎の意を表した。

10月5日(火)、上田地区幹事と日航千歳に出向き、昨日に続き大谷ガバナー補佐とご一緒に公式訪問、千歳RCは2003~04年度佐藤秀雄ガバナーを支え奮闘されたが、今年度も「地域社会との共生」をテーマにクラブの活性化をはかり、市民納涼盆踊り大会に参加、ローターアクターの出店が人気を集めた。5ヘクタールの「ロータリーの森」の整備、市内小学生の写生大会及び展示。また紫明女子学院の学院行事に協力参加してきた事で札幌矯正管区長から表彰を受けられた。ローターアクトクラブは千歳と恵庭(合計22名)で一緒に活動している。千歳セントラルRCも昨年度はコ・ホストとしてガバナーを支え努力された。明年度創立15周年を迎えられるが記念事業として、わがまち再発見「千歳の四季」をテーマにまちフォト・コンテストを実施計画、第1回目は「秋」で11月に行われる。また米山記念館への奉仕活動はクラブ創立以来維持支援を続けている。2クラブ合同例会は和やかに終了した。



10月6日(水)、今回は27回目公式訪問の最期の日である。1:30 p m新宮室蘭市長を表敬訪問。ロータリーについて懇談し、奉仕活動の期待を膚で感ずる。3:30 p mから蓬

峯殿に於いて第9グループ鈴木久雄ガバナーとご一緒に室蘭RC、室蘭北RC、室蘭東RC、登別RCの順に会長・幹事会を行う。各クラブから今年度にかける熱い思いをお話しいただいた。この4クラブと伊達RC、洞爺湖RCは鈴木ガバナー補佐を中心に今年一年私を支えてくれる大切なクラブであり、クラブとしての奉仕活動にも期待をしている。公式訪問は最期の合同例会で、慰労の意味から夜間例会でしめて頂いた。感謝。



72クラブすべての公式訪問を終わりホッとしている。長引く不況の厳しい経済環境の中、確かに会員数は減少しているが、会員数の多いクラブ、少ないクラブが各々自分の身の丈に合った奉仕活動を熱意を持って行っておられる様子がよく判った。私もRI会長の基本方針である職業奉仕の重要性を訴え、三大目標のお願いに終始した。御協力頂いた各ガバナー補佐の皆さん、各クラブの会長・幹事・会長エレクトの皆さん、各クラブ会員の皆さんに感謝申し上げます。

10月7日(木)、第1回ガバナー指名委員会開催。ガバナー月信2号にわたりガバナーの公募を各クラブにお願いし10月3日締め切ったが、各クラブからの応募がなくこれから委員長を中心に適任者の発掘に動くことになった。

11月はロータリー財団月間です



ロータリー財団月間を迎えて

「財団活動に協力すること　これが本当のCelebrate Rotary 100Years -
毎年あなたも100ドルを

ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 正之 (札幌南PG)

11月はロータリー財団月間です。

この月間は、クラブが財団プログラムを支援推進参加する特別な月間です。

また、月間中にロータリー財団の活動を広く知ってもらうこと、ロータリー財団の寄付増進に会員の協力をお願いする月間でもあります。

財団の生い立ち、またその使命等、所謂総論については、会員の皆様は色々な機会を通じ見聞きしているのでご存知と思い今回は紙面の都合で割愛し「毎年あなたも100ドルを」についての制度の変更と認証という観点から述べてみます。

1. 「ポール・ハリス準フェロー」の名称がRotary Foundation Sustaining Memberに変更され、「財団の友」と訳されています。

制度の変更点は準フェローの時には最初に100ドル寄付をし、その後は50ドルでも60ドルでも1,000ドルに達するまで準フェローでした。

2002年10月の財団管理委員会で「財団の友」は毎年100ドル以上を寄付する人と定義されました。

誓約書の提出は省かれています。当然ですが毎年100ドルの年次寄付をして、累計が1,000ドルになりますと、ポール・ハリス・フェローとして認証されます。

「財団の友」に終わりはありませんが毎年、年次寄付をしなければならぬのか心配な人もいますが、任意の寄付ですから、ロータリー財団が取り立てるようなことはありません。

2. 「認証ポイント」の前の名称は「据え置きクレジット」です。現在の制度では「認証ポイント」が失効することがなくなりました。「ポール・ハリス・フェロー」の人が1,000ドルを寄付して1回目の

「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」になれば他の人に1,000ポイントの「認証ポイント」を与えて1人を「ポール・ハリス・フェロー」にする事が出来ます。

「認証ポイント」をもらって「ポール・ハリス・フェロー」になった場合は寄付累計が1,000ドルと表示されますが「認証ポイント」はつきません。

累計で3,000ドル以上を寄付しますと2,000ポイントの「認証ポイント」がつかます。

従って累計2,000ドル以上の時に「認証ポイント」を使わなかった場合は2人を「ポール・ハリス・フェロー」にする事、1人を「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」(寄付累計2,000ドル)にする事が出来ます。

また、他の人に500ポイントを与えて、「認証ポイント」を与えられた人が500ドルの年次寄付をする事と「ポール・ハリス・フェロー」になります。このケースを「マッチング・クレジット」と呼んでいます。

3. 個人の「認証ポイント」のほかに「クラブのポイント」というものもあります。

クラブ会長の署名で誰かに与えて、「ポール・ハリス・フェロー」にすることが出来ます。「地区のポイント」の場合は地区ガバナーが署名します。

4. 恒久基金に1,000ドル寄付しますと「ベネファクター」になります。

年次寄付、用途指定寄付、恒久基金などへの寄付合計額1万ドルに達しますと、「大口寄付者」となります。

「大口寄付者」の場合は「認証ポイント」による寄付は加算されません。

日本の「大口寄付者」は2003年7月現在441名です。



ロータリー財団国際親善奨学金委員会から3つのお知らせです

国際親善奨学金委員会

委員長 瀧川 哲夫 (札幌手稲)

1. 2005 - 06年度国際親善奨学生 (候補者) 9人が決まりました。

9月末にロータリー財団へ正式応募書類を送りました。正式決定は来年1月の予定です。みんな張り切ってオリエンテーション, ロータリー行事に参加しています。

文化研修生 (3ヵ月)

	名 前	かわにし けいこ 川西 景子
	性 別	女
	第一希望国	オーストリア
	スポンサークラブ	札幌大通公園RC

	名 前	みつはら みく 光原 未来
	性 別	女
	第一希望国	イングランド
	スポンサークラブ	札幌RC

	名 前	なかがわ つばさ 中川 翼
	性 別	女
	第一希望国	カナダ
	スポンサークラブ	札幌手稲RC

	名 前	さくま さなえ 佐久間早苗
	性 別	女
	第一希望国	カナダ
	スポンサークラブ	札幌南RC

文化研修生 (6ヵ月)

	名 前	いしくろ かなめ 石黒 要
	性 別	男
	第一希望国	インドネシア
	スポンサークラブ	札幌北RC

	名 前	おぐろ とみこ 小黒 智子
	性 別	女
	第一希望国	イタリア
	スポンサークラブ	札幌西RC

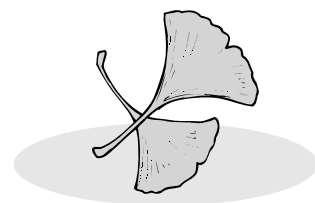
1 学年度奨学生

	名 前	ひえだ たけし 稗田 健志
	性 別	男
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	札幌手稲RC

	名 前	いまむら まきこ 今村真希子
	性 別	女
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	新札幌RC

マルチ（2年）奨学生

	名 前	うしやま たかし 牛山 喬史
	性 別	男
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	札幌西北RC



2. ロシアからの3ヵ月文化研修生が滞在しています。

当地区が5010地区（アラスカ・ロシア東部）に寄贈したロータリー財団奨学金で、ロシア東部地域から2人の奨学生（3ヵ月文化研修生）が9月1日から当地区に滞在しています。2人とも女性で、札幌清田RCがホストしているアンナ・シュミロワ（写真左）と、新札幌RCがホストしているマリヤ・ペトロヴァ（写真右）です。アンナは6月にカムチャツカ教育大学を卒業したばかり、マリヤはウラジオストク国立経済サービス大学の4年生です。どちらも日本語は中上級で、日常会話には不自由しませんが、月曜から金曜までの午前中は札幌市中央区のIAYで集中的に日本語を学び、その他、多くの地区内ロータリー活動に参加しています。この寄贈奨学金は今回が最終となります。



3. 2006 - 07年度国際親善奨学生の募集を予定しています

2006-07年度もこれまでと同様、文化研修3ヵ月3名、文化研修6ヵ月3名、1学年度2名、マルチ（2年）1名程度の枠で募集します。募集要項は1月頃に公表・配布します。応募締め切りは4月、面接選考は6月を予定しています。



財団学友会の活動

財団学友委員会

委員長 山崎晴嘉（札幌西北）

当地区の学友は元国際親善奨学生と元研究グループ交換チーム・メンバーとリーダーですが、2004年6月末現在で元国際親善奨学生221名、元GSEチーム・メンバーとリーダー64名で合計275名に達しています。学友は大学教授、研究者、医師、地方行政官、教師、各種専門家などとして、多方面で活躍されておりますが、ロータリクラブの会員として活動されている学友も増えてきており、当地区でも2名が札幌大通公園RCの会員となっております。

遠藤正之ガバナー年度の2001年5月に当地区の「財団学友会」が発足し、学友の連帯を強め、ロータリーに協力するために積極的な活動を行っております。最近の主な活動内容をご紹介します。尚、この活動は地区財団学友委員会との協同活動も含まれています。

1. 帰国学友報告会の開催：国際親善奨学生が留学期間を終えて帰国されてもロータリーとしての受け入れと報告が明確でなかった反省から、帰国報告会を開催しています。この報告会は学友の再認識を含め大きな成果をあげつつあります。
2. 学友名簿の改訂版作成：スポンサークラブ別学友数を加えた2003年版の学友名簿を作成し、地区内各クラブへ配布した。
3. 学友会ニュースレター作成：毎年、学友会の活動を取りまとめて、各クラブへ発信しています。
4. 学友会総会・懇親会の開催：ガバナーをはじめとするロータリアンの参加を頂きながら、年次報告・役員選出と親睦を図っています。
5. 学友卓話：各クラブの要請に基づいて、主に財団月間に学友の卓話を行っている。
6. 世界大会での学友フォーラム参加：大阪で開催されたロータリー国際大会の学友フォーラムに3名の学友が参加し、数人の元RI会長をはじめとするR財団役員と交流を行った。
7. 地区大会フォーラム：遠藤ガバナーの要望で2004 - 2005年度地区大会に於いて、記念フォーラムを計画実行する。

上記以外にも派遣予定国際親善奨学生やGSEのオリエンテーションに参加して体験をアドバイスしています。賛助会員の各クラブには財団学友会へご支援・ご協力を頂き、感謝を致しておりますが、上記の諸活動には活動資金が不可欠です。尚一層のご支援・ご協力を御願いたします。



研究グループ交換(G S E)プログラム

G S E 委員会

委員長 山名善久(札幌圏南)

G S E プログラムはR財団プログラムの一つです。現在、世界中の地区でこのプログラムは活発に行われております。小林ガバナー年度(2002~03年度)からG S E プログラムは2年に跨り受け入れ・派遣を実施することになり、この年度は当地区で初めてアジアの地区とプログラムを交換しました。R I 3830地区(フィリピン)からチームを受け入れ、翌年の佐藤ガバナー年度(2003~04年度)には当地区からR I 3830地区へチームを派遣しました。これで一つのプログラムが終わったこととなります。

今年度はR I 3350地区(タイ)からG S E チームを先月(10月4日~31日)受け入れましたことは、皆様ご承知のことと思います。当地区は11回目までのプログラムは全てアメリカ、カナダ、オーストラリアの地区とのプログラムでしたが、これからはアジアの地区とのプログラムを重点におき12回目はフィリピン、13回目はタイ、14回目もアジアの地区を考えております。アジアの地区と交換プログラムを重ねることによって、アジアの人々が日本に対する理解を深めてくれる事を願っております。

次年度はR I 3350地区へメンバーを派遣しますが、今月中旬頃に派遣するG S E チームメンバー選考試験を行う予定です。選ばれたメンバーは1年間の研修後、2006年3月に派遣される予定です。

最後に、G S E プログラムが持っている力を最大限発揮するには、皆様のお力が必要です。皆様のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。



人道的補助金プログラム

補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西)

2003～04年度から新しい補助金制度に変わり申請も簡素化された事により補助金の申請も増えました。ロータリー財団への理解も深まり財団増進につながればと思います。

・地区補助金 (District Simplified Grant)

社会奉仕事業に財団の補助金が地区の裁量で使えるようになりました。

03～04年度は11件3,038,200円補助金を支出しました。尚、8件1,076,800円を承認しており継続事業となり報告書が提出され次第支払う予定です。

補助金はどのような事業が該当するのか申しますと下記の通りです。

プロジェクトの内容	ふさわしいプロジェクト	不的確なプロジェクト
植 樹	ロータリアンが自ら植樹する場合	市役所や他団体に現金を寄贈し植樹を請け負ってもらう場合
車 椅子 の 寄 贈	病院、養護ホームなど不特定多数の人が利用できるような施設への寄贈	近所の足の悪い人など特定の人に贈る場合
災 害 救 援	被災地へ毛布など寄贈	金銭を贈る
識 字	辞書などを在日外国人組織やグループに寄贈、会場費	講師への謝礼
遊 具	お祭りや行事の一部がロータリーの主催であれば可	他団体の主催するものは不可
お祭りや行事への協賛	お祭りや行事の一部がロータリーの主催であれば可	他団体の主催するものは不可
ス ポ ー ツ 大 会	優勝旗、賞状、グラウンドの使用料、ユニフォームなどは適切	優勝の賞金は不可、ロータリアンが審判や会場の誘導などに参加しなければ不可
コ ン サ ー ト	会場費、プログラム、ちらしなどは適切、演奏者がプロの場合、出演料が認められる場合もある	入場料をとるのは不可
ゴ ミ 拾 い	ゴミを拾うためのビニール袋などは適切、拾った後、協力してくれた子供達にお弁当やジュースを出すのは可	同行したロータリアンのお弁当は不可

05年度6月末までに支出可能な枠は12,000ドルです。申込順に審査をしています。

尚、05～06年度は37,000ドルが配分されております。

・個人向け補助金 (Individual Grant)

人道的活動を支援するために奉仕するロータリアンのボランティアに対し、旅費及び全般的な費用を補助するものです。

03～04年度、4名が申請のためのボランティアへ登録を終えましたが、04～05年度よりボランティア登録が不要となりました。

・マッチング・グラント (Matching Grant)

地区によっては世界社会奉仕とマッチング・グラントを同一の委員会が担当している場合もありますが、ロータリー・クラブが他国のロータリークラブを援助するのが世界社会奉仕であり、そのプロジェクトに補助金を申請しますとロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントになります。

マッチング・グラントの名称通り、2カ国以上にあるロータリークラブが協力しあい、それを補うのがマッチング・グラントです。

03～04年度は2件申請され1件2,000ドルが補助され完了しています。

1件は5月2,500ドルが承認されました。7,500ドルのプロジェクトが継続事業となり10月に完了予定です。

・3種類の補助金の申請手順

地区補助金	マッチング・グラント	個人向け補助金
申請書を地区に提出	申請書をロータリー財団(日本事務局)に提出	申請書をロータリー財団(日本事務局)に提出
申請書が整っていれば審査	財団が受理番号を通知します。	財団が受理番号を通知します。
地区が補助金を振り込む	ロータリー財団がプロジェクトを承認	ロータリー財団がプロジェクトを承認
	申請クラブまたは地区が合意書 (agreement)などを提出	申請クラブまたは地区が合意書 (agreement)などを提出
	申請クラブまたは地区が提唱者側負担分を送金	
	ロータリー財団が補助金を送金	ロータリー財団が補助金を送金
プロジェクトの実施後最終報告を作成	プロジェクトの実施後最終報告を作成	プロジェクトの実施後最終報告を作成

補助金を支出してから2ヶ月以内に最終報告書を提出します。

この義務を怠ると補助金を全額返還した上、最高5年間補助金を受け取ることができなくなる恐れがあります。

R J W 全 体 会 議 報 告



情報・IC委員会
委員長 山田 信夫(苫小牧北)

あまり馴染みのない会議名ですが、この会議は昨年度に引き続き第2回目となります。

RJW*とは、RIからの情報を日本語で公開しているサイトで、これを運営している組織がRJW委員会であり、私は当地区のRJW地区委員です。

2004年9月20日に高輪プリンスホテルで開催された会議には、成川守彦委員長はじめRJW委員13名、RJW地区委員19名が出席しました。

始めに河本前委員長から2003 - 04年度の報告として、運営資金は一昨年までガバナー会から200~300万円、昨年度はロータリーの友委員会から600万円の資金を受け運営してきたが、ロータリーの友委員会として公式地域雑誌を作る資金を継続してRJWに提供することは困難であることから、今後の資金確保に人頭分担金(総額約6,000万円)を求めたが、昨年度ガバナー会での判断は見送られた。資金確保が行き詰まる中「ロータリー情報センタージャパン」構想が立ち上がり、この構想の中で資金確保の道を模索していくとの報告があった。活動については1,500ページに及ぶロータリーに関する情報をホームページに掲載し、886クラブを始めとし地区などを含め1,200のリンクを貼るに至っている。また、大阪国際大会ではITコーナーを支援し4,000人の利用者を受け入れた。



成川委員長

次に、成川委員長から2004 - 05年度の方針が発表され、日本におけるロータリー諸機関との関係を

計り「ロータリー情報センタージャパン(仮称)」の設置に努める他、倫理性に対するルール作りなども提言された。

RJW地区委員からは、各地区のITやICの取り組みについて発表。やっと地区のホームページを立ち上げた地区から、ガバナー月信をネット配信のみとしている地区など様々で、地区によって考え方、取り組みについての温度差がかなりあることが浮き彫りになった。また、RJW地区委員を選任していないところが3地区ある。地区によってはRJWの運営資金を地区から30万円程度なら負担が可能と判断していて、各地区に要請してはどうかとの意見があった。

RJWは、ロータリアンがボランティアで運営していることもあり、委員会の方がご苦労されていることは事実である。また、無理をしていることもあり小さなミスもある。クラブの活動紹介のページを作ろうとしているなど、手を広げ過ぎ本来の活動に支障をきたしている側面もある。「ロータリー情報センタージャパン」構想の中で資金確保するにしても地区が負担金を支払うにしても原資は地区資金であり会員の皆さんからの会費です。まずは無駄を排除した現実的な見積りが提示され議論されるべきでしょう。

* Rotary Japan Web
(ロータリー・ジャパン・ウェブ)の略



新潟・福井災害義援金報告

新潟県及び福井県を見舞った水害への義援金は、地区総計1,992,792円となり、9月21日ガバナー会沖田順和議長宛に送金致しましたのでご報告申し上げます。

地区内各クラブ、会員皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

尚、各地区より集まりました義援金は、ガバナー会にて取りまとめられ、D2560横山ガバナー及びD2650神谷ガバナーに送金されます。

ご協力戴いたクラブ

羽幌RC 妹背牛RC 留萌RC 滝川RC 江別RC 江別西RC
 岩見沢RC 岩見沢東RC 栗沢RC 当別RC 札幌RC
 札幌あけぼのRC 札幌北RC 札幌モーニングRC 札幌西北RC
 札幌手稲RC 札幌東RC 札幌清田RC 札幌幌南RC 札幌真駒内RC
 札幌南RC 札幌大通公園RC 新札幌RC 岩内RC 倶知安RC
 小樽RC 小樽南RC 小樽銭函RC 蘭越RC 余市RC 千歳RC
 千歳セントラルRC 北広島RC 長沼RC 由仁RC 三石RC
 伊達RC 室蘭RC 室蘭東RC 登別RC 洞爺湖RC 函館RC
 函館亀田RC 七飯RC 長万部RC 江差RC 函館五稜郭RC
 函館東RC 上磯RC 白老RC 苫小牧RC 苫小牧北RC

ご協力ありがとうございました

新潟(D2560)・福井(D2650)
 災害義援金募集決算報告書
 2004年10月13日

地区	総金額
2500	1,000,000
2510	1,992,792
2520	1,961,185
2530	2,600,167
2540	1,005,000
2570	1,000,000
2580	4,039,169
2590	2,405,610
2600	1,000,000
2610	2,779,590
2620	1,336,629
2630	3,382,296
2640	3,001,131
2660	4,279,655
2670	2,500,000
2680	2,784,716
2690	2,714,763
2700	2,954,753
2710	3,075,699
2720	1,537,967
2730	1,583,291
2740	1,399,893
2750	5,720,704
2770	1,916,574
2780	2,271,048
2790	1,000,000
2800	157,000
2820	494,200
2830	710,300
総計	¥62,604,132

地区世界社会奉仕委員会からのお願い

「書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収にご協力を」

世界社会奉仕委員会
 委員長 斎藤修弥(室蘭)

これまで歴代の地区世界社会奉仕委員会が、アジアの恵まれない地域への支援を目的に、書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収事業を行い、多大な成果をあげてまいりました。本年度地区世界社会奉仕委員会も同じ目的で、書き損じハガキ、未使用テレホンカードの回収を行い、種々の人道的な事業や厳しい環境の中で頑張っている子供たちを支援する事業を展開していきたいと思っております。当委員会はこのような奉仕活動こそ、必ずや21世紀における日本と近隣アジア諸国との相互理解や親善に大きく寄与するものと確信しております。今回新たにキャンペーン用のポスターと回収箱を作製し、クラブへお送りいたしました。どうか例会場などでご利用いた

き会員の方々と、一般の市民の啓蒙にも役立てていただきたいと思います。ご協力宜しくお願いいたします。

記

実施期間 2004～2005年度
 回収方法 回収箱を各クラブに設置
 回収時期 2005年1月末、2005年5月末
 現物送付先 051-0011

室蘭市中央町2-7-17 斎藤外科医院内
 R I 第2510地区世界社会奉仕委員会宛
 TEL 0143-23-1411
 FAX 0143-24-3599

米山記念奨学生紹介

2004～2005年度

お名前 国籍 大学 課程・学年 専攻 奨学金種類 奨学期間 世話クラブ

	リ ショウ キョウフ 李 承強 君 中国 小樽商科大学 修士2年 経営管理 Y M奨学生 2004/4～2005/3 小樽 R C		ショウ ジル カ 尚 爾華 さん 中国 札幌医科大学 医博3年 地域医療人間総合医学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌セントラル R C		リョウ エン カ 劉 艶霞 さん 中国 札幌医療大学 博士3年 薬学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 当別 R C
	ワン ショウ ヤン 王 朝陽 君 中国 室蘭工業大学 修士2年 電気電子工学 Y M奨学生 2004/4～2005/3 室蘭 R C		デマタビティヤ スムドウ 君 スリランカ 室蘭工業大学 修士1年 情報工学 Y M奨学生 2004/4～2006/3 室蘭東 R C		レン ビン 連 敏 さん 中国 北海道文教大学 修士2年 中国語コミュニケーション Y M奨学生 2004/4～2005/3 恵庭 R C
	チェン ヨン ジュ 千 永柱 さん 韓国 札幌大学 修士2年 文化学 Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌清田 R C		シーチャツスワン クワチ さん タイ 苫小牧駒澤大学 学部4年 国際文化学 Y U奨学生 2004/4～2005/3 苫小牧北 R C		ウ キョウ グン 于 曉軍 君 中国 北海道大学 博士2年 現代経済経営 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌 R C
	シアリ レザ 君 イラン 北海道大学 医博4年 病態制御学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌大通公園 R C		ナハル ヌルン さん バングラデシュ 北海道大学 医博3年 病態制御学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌北 R C		ヨウ コウ ヨウ 君 楊 国勇 君 中国 北海道大学 修士2年 システム情報 Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌あけぼの R C
	チョウ ヘ キョウ 趙 慧卿 さん 韓国 北海道大学 博士3年 環境資源学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 新札幌 R C		ジョン ジャ リオン 鄭 子龍 君 韓国 北海道大学 獣博4年 獣医学 Y D・C Y奨学生 2004/4～2005/3 札幌モーニング R C		チョウ ショウ レイ 張 秀玲 さん 台湾 北海道大学 獣博4年 寄生虫学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌東 R C
	シン ケン ニチ 申 鉉日 君 中国 北海道大学 博士2年 生命資源科学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 函館 R C		カン ケン ユ 韓 建宇 君 中国 北海道大学 博士3年 大気海洋環境科学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌西北 R C		チェン コウ ファン 陳 光蔡 さん 台湾 北海道大学 修士2年 国際広報メディア Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌はまなす R C
	キム ヤン スク 金 良淑 さん 韓国 北海道大学 博士3年 国際広報メディア Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌南 R C		リン ヨイ ハ 林 永波 君 中国 北海道大学 博士3年 物質環境科学 Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌西 R C		リョウ ショウ ジュ 劉 淑如 さん 台湾 北海道大学 博士3年 歴史地域文化学 Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌手稲 R C
	キョウ レイ チン 邱 麗珍 さん 台湾 北海道大学 博士4年 法学政治学 C Y奨学生 2003/4～2004/9 札幌真駒内 R C		イ ヨン エ 李 英愛 さん 韓国 北海道大学 博士4年 日本文化 C Y奨学生 2002/4～2005/3 札幌南 R C		シン ドウ ファン 申 東煥 君 韓国 北海道大学 博士4年 生命資源科学 C Y奨学生 2003/4～2004/6 函館五稜郭 R C

R I 100年記念国際大会

2005年6月18日(土)～22日(水)

オン・ツー・シカゴ委員会

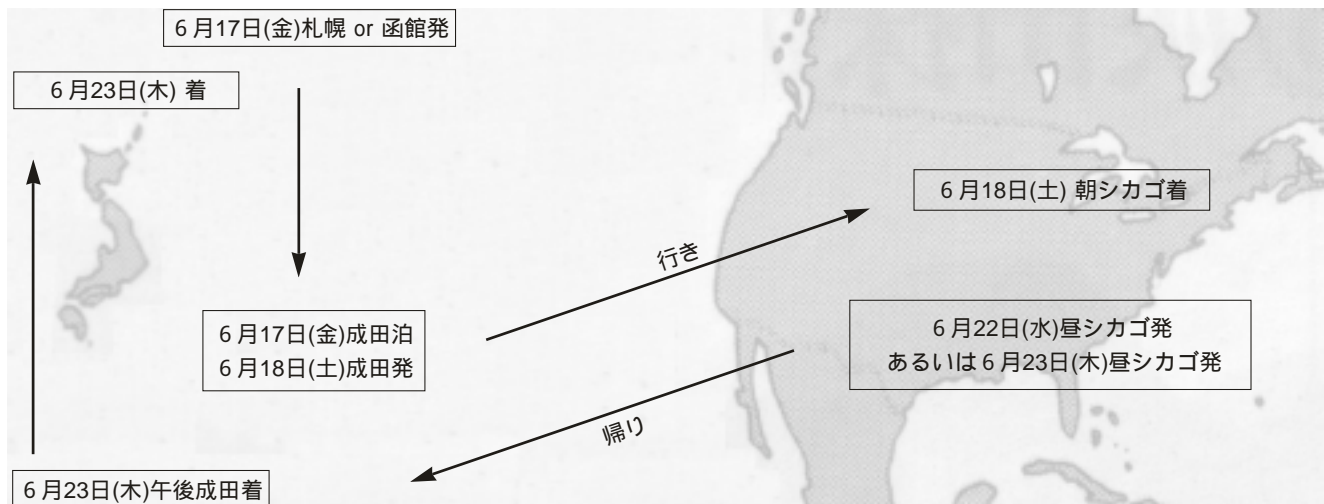
100年記念のR Iの国際大会がシカゴで明2005年6月中旬に行なわれます。折角の機会でありますので当地区から出来るだけ多数の参加を期待しております。

地区として1本だけ下記のような行程表を作ってみました。飛行機のこともありますが、頭の痛いのは宿舎のことです。また会期中訪ねたいところもあります。そこでオプションツアーを2つ用意してみました。オン・ツー・シカゴ委員会の皆さんとJTBの協力で作った素案が下記のものです。

どのような行程で行かれても個々人全く自由であります。ただ、地区としての行程表ですと比較的安くす

むかと考えております。小人数ではあまりメリットもありませんのでお隣りの2500地区にも声をかけております。2500地区のみなさんとは北海道ナイトだけでなく、オプションツアーも一緒になれる機会かと考えております。

なお、大会登録、ホテル予約は申込書を参考にして記載して下さい。大会登録は参加者全員が直接R I宛に、飛行機・ホテル予約は出来ればJTBに行ってください。その他詳細は申込書の記載事項を参考にして下さい。



主な行事

パレード	6月18日(土)午前中
北海道ナイト	6月18日(土)夕刻
開会式	6月19日(日)
閉会式	6月22日(水)

交通費

日本航空(往復)(旅程は21ページ) およそ12万円

宿泊費

ホテル名はいまのところ未定

成田	1泊(6月17日)	1万円
シカゴ	4泊(6月18,19,20,21日)	8万円～
	5泊(6月18,19,20,21,22日)	10万円～

交通・宿泊の合計

21万～23万円以上

オプション

- (1) シカゴ市内一日観光(市内観光に次いでポール・ハリス足跡の旅として住家カムリバンク、墓地マウントホープなど) ... 6月20日予定
- (2) 五大湖、ナイアガラ泊観光... 6月21日、22日予定

その他

- (1) 上記費用はすべておよその概算で、食費を含め詳細は年明け以降に確定。オプションの料金は申込人数によって確定しますので、現時点では未定です。
- (2) 大会登録はe-mailかFAXでR Iに直接行って下さい。登録費は12月31日まで400ドルですがそれ以降は高くなります。登録方法など詳細は申込書式を参考下さい。JTBに登録を代行依頼のときは一人6,300円必要です。

- (3) 航空機ならびに宿泊の申し込みは出来ればJTB札幌三越前支店(担当 宮崎氏、柴田氏宛)に行ってください。

宿泊予約にはR Iに予約金の前納、お一人当たり175ドル(2万円)が必要です。R Iの締切は12月15日ですので早目の決断がお得となります。詳細はホテル予約書式をご覧ください。

- (4) 宿泊数は4泊、5泊の2案を用意しました。5泊の方は追加1泊分を除けば料金は4泊の方と同じです。5泊の方は閉会式の参加が可能です。
- (5) 登録申込書式、ホテル予約書式の必要な方はオン・ツー・シカゴ委員会(TEL:011-222-1506)にご連絡下さい。

上記以外で不明なことはJTB札幌三越前支店(TEL:011-232-7878、011-232-4343 担当 宮崎氏、柴田氏)にお尋ね下さい。

国際ロータリー国際大会(シカゴ) 行程表

旅行期間 2005年6月17日(金)~2005年6月23日(木) 5泊7日(旅館・ホテル5泊)

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	旅程	食事
1	2005年 6/17 (金)	新千歳空港発 成田空港着	14:25 15:55	JL3042	夜便にて東京へ(前泊) 成田前泊 約25分間接続時間が不足している為前泊必要 函館発着希望の方 函館14:00頃 航空機JAL 15:30頃羽田 ...成田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円) <成田泊>	
2	6/18 (土)	成田空港発 シカゴ着	11:45 09:05	JL010	一路シカゴへ直行便利用 空港より車で約40分 <シカゴ泊>	
3	6/19 (日)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
4	6/20 (月)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
5	6/21 (火)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
6	6/22 (水)	シカゴ発	11:35	JL009	ホテルより空港へ 車で約40分 一路日本へ	
7	6/23 (木)	成田空港着 成田空港発 新千歳空港着	14:40 18:30 20:05	JL3047	入国手続後国内線で北海道へ 無事到着おつかれ様でした。 函館発着希望の方 ...成田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円) 17:00頃羽田 航空機JAL 函館18:30頃 正式時間によっては接続が出来ない場合もございます。	

ご注意: 発着時間、交通機関などは変更になることがございます。利用予定航空会社 J L 日本航空 復路現地 6月23日(木)希望の方は事前にご相談くださいませ。ビジネスクラスのご希望についても承ります。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年10月13日発行

ハイライトよねやま 56

<10月は米山月間>

1. 寄付金速報～10月は米山月間です

9月までの寄付金は、前年同期と比べ0.03%減少でした。普通寄付金が0.9%減、特別寄付金が1.3%増です。9月の特別寄付金が前年同期と比べて増加しましたが、これは、今年度からクラブ米山(CY)奨学金【注】の半期毎の分納が可能となったことで、この奨学金に関連する世話クラブからの寄付金が、一部この時期に入るようになったことが要因と考えられます。10月は米山月間です。クラブ・地区で米山奨学事業に関わる皆さまには、引き続き卓話など広報活動にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

【注】クラブ米山(CY)奨学金：

博士課程最終学年に在籍し、1年以内に学位取得の見込みのある奨学生に対して、世話クラブからの申込みによって奨学期間を延長できる制度(最長1年)、延長期間(6ヶ月または12ヶ月)の奨学金の半額を世話クラブが寄付金として負担することが条件となる。

2. 今月のロータリーの友“よねやまだより”は.....

米山月間・特別座談会：『ロータリアンになった米山学友が語る米山奨学事業のこれから』
(友10月号P.17～)

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、恒例の特別座談会を掲載しています。今年は、現在ロータリアンとなっている4人の米山学友に、自らの経験を踏まえて米山奨学事業について思うところを語ってもらいました。支援する側・される側、双方の気持ちをよく知る彼らならではの視点が魅力です。そのほか、ロータリー米山記念奨学会の寄付金や財政、奨学生数などの諸データを2ページにわたって掲載しています。ぜひ一読ください。



3. 第3回フォーラムに向けて皆さまの声をお寄せください

2004年12月11日(土) 新高輪プリンスホテルにて第3回米山奨学事業フォーラムが開催されます。このフォーラムは、ガバナー・エレクトとその推薦者2名の計3名を地区代表とし、2006年度の制度改編に向けた議論のために集う場となります。以下は具体的な論点です。

- (1) 米山の“使命”とは？またその選考基準は？
- (2) 事業の目的と奨学金額
- (3) 指定校・大学推薦制度の拡充
- (4) 世話クラブ・カウンセラー制度の拡充
- (5) 新しいプログラムへの取り組み【参考資料：『米山奨学事業豆辞典』(p.11～)】

フォーラムに出席いただく3名は、地区の意見を代表して参加されます。皆さまの声をぜひ地区にお届けください。なお、フォーラムで協議された内容については、来年の『ロータリーの友』“よねやまだより”にて報告する予定です。

4. 国際ロータリー理事・南園義一氏より、米山奨学事業に寄せる言葉

8月30日の理事会・評議員会では、台風16号の影響でやむなく欠席となった方々もいました。来賓の国際ロータリー理事・南園義一氏も、予定の飛行機が欠航のため欠席されましたが、代わりにメッセージを寄せてくださいました。当日の会議で高野副理事長によって代読されたこのメッセージには、米山奨学事業のこれからの課題の核心を突く内容が込められており、出席した理事・評議員の皆さんも静かに耳を傾け、受け止めておられるようでした。

米山奨学事業について思いをめぐらせていただく米山月間において、南園 R I 理事からの今回のメッセージは、きっとご参考になることと思います。全文を当会ホームページに掲載していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。

南園 R I 理事の言葉（一部抜粋）

今、ロータリーの奉仕活動も変わりつつあります。人道的奉仕と教育的奉仕活動の割合が変化し、人道的プログラムが増え、従来多かった教育的奨学生プログラムが減少傾向にあります。限られた寄付金のなかでの奉仕活動の比率はとても重要です。地区やクラブが個性的な活動目標と理念をしっかりとって行動すべき時代になったということでしょう。そして、今や、時代の変遷や社会構造、また社会意識の変化などによって米山奨学事業もまさに変革期にあるといわれています。この変革期を乗り切るためには、私たちは、米山記念奨学会の事業目的は何かという根本問題を再認識する必要があるように思います。

全文はこちら < http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/message0830.html >

5. 私は元米山奨学生の教え子～米山奨学生の卓話レポート～

「私は“一期一会”という言葉がとても好きです」と語る米山奨学生、楊 琇 媚さん【台湾/広島大学大学院/D-2710 広島東南RC】。台湾の大学の日本語学科で、心から尊敬できる恩師に出会い、努力の果てにつかんだ日本留学。彼女が師と仰ぐその人は元米山奨学生で、「日本語を教えるだけではなく、常に感謝の気持ちを持つことや、世の中の役に立つ人間になることを教えてくれました」。現在、広島大学で博士号取得を目指す楊さんですが、ここに至る道のりは試練の連続でした。甘い認識で選んだ文学研究への迷い、先行研究の論文が理解できない、アルバイト先で怒鳴られる……壁にぶつかるたびに悩み立ち止まりますが、「何も得ないままで台湾に帰ることはできない」「このくらいでやめたらこの先何もできない」と、再び歩き出す等身大の若者の姿に、「クラブ会員一同寂として声無く聴き入りました」(同クラブ会員・2710 地区 仁田理事)



全文はこちら < http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/takuwa.html >

6. 続々と反響！『米山奨学事業豆辞典』アンケート

先月の55号でお知らせした『米山奨学事業豆辞典』の巻末にはアンケートが付いています。米山月間資料として、各クラブで会員各位に配布されてから、次々に回答が寄せられています。日頃、米山奨学事業について感じていることを、ぜひこのアンケートにご記入いただき、FAX でロータリー米山記念奨学会事務局までお送りください。皆さまのご協力をお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよなやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル 8階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー
文庫通信
(205号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリーの奉仕」について

- | | |
|--|--|
| 「知行合一」 佐藤千壽 平城京RC 2003 40p
[申込先:ロータリー文庫(コピー)] | 「おもしろおかしくロータリー」 堀場雅夫 2004 10p
(D.2650地区大会講話) |
| 「『クラブ奉仕の願望』」 深川純一 2004 6p
(D.2680 ガバナー月信)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)] | [申込先:ロータリー文庫(コピー)] |
| 「『ロータリー運動の主役はクラブ』」 田中毅 2004 5p (D.2680 ガバナー月信)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)] | 「ロータリー物語」 鳴海淳郎 別府中央RC 2004 39p
[申込先:ロータリー文庫] |
| 「ロータリーの心を尋ねて」 松田尊文 大牟田RC 2004 49p
[申込先:大牟田RC FAX(0944)57-7220] | 「私のロータリー観」 田中克憲 2004 116p
[申込先:田中克憲 FAX(095)822-4699] |
| 「21世紀のロータリー」 千 玄室 2004 4p
(D.2650地区大会基調講演)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)] | 「ロータリーは知・好(行)・楽 - ロータリー情報の菜 - 」 八尾RC 2002 81p
[申込先:八尾RC FAX(0729)24-0010] |
| | 「『ロータリーを考える』」 菅生浩三 1993 27p
(「ロータリー随想」より)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)] |

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC	小林 俊之	会員	8月12日
札幌北RC	深浦 信吾	会員	8月12日
札幌東RC	小田切房之	会員	9月3日
室蘭北RC	川本 康裕	会員	9月3日
函館北RC	今井 定一	会員	9月17日
滝川RC	篠島 弘	会員	9月24日
札幌東RC	吉山 八郎	会員	10月1日
小樽RC	河辺 由清	会員	10月1日
小樽RC	熊澤 隆樹	会員	10月1日
小樽RC	島口 義昭	会員	10月1日

ポール・ハリス・フェロー

登別RC	遠藤 征子	様	8月12日
室蘭北RC	西尾 静枝	会員	9月3日
登別RC	高橋 恒夫	会員	9月3日
小樽RC	金久保兵士郎	会員	10月1日
小樽RC	三山 雄弘	会員	10月1日
森RC	渡辺 英明	会員	10月1日

会員投稿

ポリオ撲滅の問題点

青木 功喜(札幌東)

ポリオ＝財団寄付のイメージが先行し勝ちである。40年前エチオピアでトラコ・マワクチンの野外実験を世界保健機構(WHO)のスタッフとして従事した経験からポリオ撲滅の問題点を述べてみたい。

ポリオウイルスの治療薬がない今、これを予防するしかない。人口の30%以上が感染すると抗体保有者がバリアになる。流行を防ぐためにはウイルスを人工的に感染させ抗体保有者を増やすためにワクチン投与が行なわれる。

ポリオの流行は1960年北海道の夕張を中心に5,000人を越す流行阻止のためそれまで投与されていた不活化ポリオワクチンを経口弱毒生ワクチン投与に切り替えて奏功し、1970年以降は激減した。

ワクチンには弱毒化した生のウイルスと不活化した死んだウイルスが使われる。その投与方法にも経口や注射がある。前者は病原性が強いだけ高い抗体価を残す。後者は安全だが、十分な効果が期待できないことがある。ポリオの場合1990年以前に生のワクチンが精力的に投与され、我が国では1980年代の初期には野生ポリオウイルスが根絶されたが、そのためには20年余の歳月が必要であった。この世界のレベルの撲滅をWHOは、1988年の総会で2000年までの12年間で全世界からポリオを撲滅しようと宣言したが、2004年の現在撲滅に至っていない。

この12年間でWHOは、野生のポリオウイルスが常在国125カ国で30万人にワクチンの全国一斉投与を開始し、2003年にはアフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタンの国の682人にまで減少できた。経口的に投与されるワクチンは自然の感染経路と同じ様に免疫を与え、投与を受けた子供からは多量にウイ

ルスから数週間排泄され、ワクチン投与を受けなかった周囲の子供にも感染し、免疫を与える事ができ、流行阻止には大変効果的であった。

しかし安く、手軽にできる経口生ワクチンは、これを投与した患者にワクチンによるポリオ類似の急性弛緩性麻痺患者が、ワクチンを飲んだ子や環境に排泄され200万人に1人の割合で感染すると云う欠点も判った。急性弛緩性麻痺患者の便からウイルス分離、野生株かワクチン由来株かの鑑別を行なうサーベイランスが各国で始められた。我がクラブでもミャンマーのサーベイランス事業に45周年事業として参画した。

ワクチン由来株による感受性者が増え、周囲の衛生環境が悪いと接触する頻度が高い子供達に新たな流行が起こる。事実ドミニカ、ハイチ、エジプト、マダガスカルではこの流行が報告されている。この傾向は2000年代に明らかになり、これ以上生ワクチン投与を続けるべきかどうかが大きな問題になり、従来の野生株由来のものからワクチン由来株に切り替える必要が出て来ている。

WHOは2004年1月にGlobal Polio Eradication Initiative Strategic Plan 2004～2008. を発表した。2004～2005年に常在国の生ワクチン投与をして野生ポリオの伝播を遮断し、2006～2008年にはその根絶を確認する。2009年以降の経口生ワクチン投与の中止に備え、経口投与の生ワクチンの備蓄、不活化ワクチンの製造、研究室などの野生株の封じ込めなどである。ロータリ-財団のポリオ撲滅運動はこのWHOの方針に沿った線で進められている。今後はこれらの情報に関心を寄せ展望の開けた運動をすべきであろう。

会員投稿

家族同伴野外例会
「RC100年記念海外野外例会韓国旅行」

9月23日(木)~26日(日)

芝垣美男(室蘭東)

今年度の目玉事業のひとつとなる、「RC100年記念海外野外例会韓国旅行」が9月23日(木)~26日(日)の日程で行われました。

例年の野外例会はバスでの日帰り旅行なのですが、RC100年を記念して海外旅行に“格上げ”。また、野外例会とは別に、これまでもクラブ事業として上海やシンガポール、香港、モンゴルなどの旅行を企画しており、これらを通じて楽しく和やかなクラブの伝統を育んできました。

今回は、国際奉仕委員長(村木一夫氏)を団長に、夫婦同伴が5組、親子同伴が1組の総勢18名で釜山、慶州、ソウルの観光を楽しみました。

旅の思い出に花を添えたのは、3日目の25日、ソウルに向かう高速鉄道列車内での出来事。パスト会長矢萩富士雄氏が、この日、古希の誕生日だと知ってからです。

当クラブでは毎例会、その週の誕生日会員にハッピーバースディソングを歌い、お祝いを贈っています。ラッキーなことに、乗った車両は当クラブの貸し切り状態で、他の乗客が一人もいません。おまけに親睦委員の上田康夫氏はロータリーソングと件のハッピーバースディソングを録音したミニスピーカー付きCDプレーヤーを持ち合わせていたとあって、芝垣会長が急きょ、列車内での例会開催を宣言(もちろん正式ではありません)。全員で矢萩氏の古希の誕生日を祝ったのです。矢萩氏も「生涯忘れられない誕生日となりました」と感激していました。

その日の夕食も、バースディケーキを調達し、旅の疲れも見せず、韓国最後の夜をいっそう盛り上げて楽しんだことは言うまでもありません。

(寄稿 幹事 小林 進)



釜山港



南大門市場の雑踏



光化門エリアにて

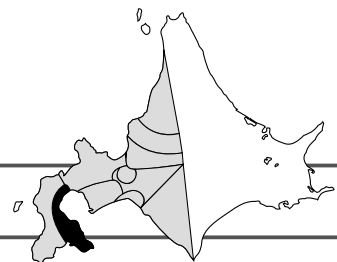


韓国の伝統舞踊



KTX韓国高速鉄道列車内での例会

こんにちは！
第10グループです



第10グループ ガバナー補佐 加藤 直樹
(七飯)

第10グループは噴火湾西岸沿いに南北120kmに渡り、函館、函館亀田、七飯、森、長万部の5RCから成り立っています。このうち函館RCは1934年（昭和9年）10月25日、日本国内15番目、道内3番目のRCとして創立し、歴史と伝統あるクラブであり、また10・11グループ11RCの生みの親でもあります。今年は創立70周年を迎えその意気なお軒昂、今後の更なる発展が期待できます。

さて、我が第10グループ各RCでは地域密着の活動から国際奉仕まで、幅広い活動を展開しております。一例としては、学生支援のための奨学金支給、高齢者の介護支援、ポリオ撲滅のための財団寄付等が挙げられます。また、京都大学研究室と連携したエゾヒキガエル（絶滅危惧種）保護活動の展開や、渡り鳥のための環境整備を主軸とした「バードサンクチュアリ事業」といった自然環境保護活動にも、積極的に取り組んでおります。

各RCの会員増強・士気の高揚に関しても、森の桜観会に七飯の観月会、亀田ボーリング大会など、グループ全体での奉仕・親睦を行い、交流を図ると共に



大沼から望む渡島駒ヶ岳

互いの友情を深めております。各RC間では多少、意識や活動実績に差異があるかもしれませんが、しかしそれが、各RCの特色ともなっております。交流会・勉強会等を積極的且つ継続的に行って互いに高めあうこと、これこそが今後の課題であると考えています。



桜舞う五稜郭

さて、当グループの活動地域である渡島地区は、温泉や湖沼、海岸、山岳等の自然観光資源は勿論のこと、五稜郭やヲシヤマンベ陣屋跡をはじめとする有形・無形の文化財が数多く点在し、特色ある観光圏を形成しております。観光産業に関しても、昨年こそ冷夏・SARS等の間接的影響により全道的にマイナス（入込客数対比）だったものの、東北新幹線の八戸延伸や函館羽田便の増便と当地域に関してはプラス要因も目立ちます。また、近く北海道新幹線開通も予定され、今後とも大きな期待が持たれます。



観光のみに留まらず、当地域はロシアやカナダといった国々との異文化交流も活発に行われております。これは来るべき国際化社会に向け、全国的にも大きなリードを保っているものと考えます。北海道の入り口として古来より栄えた渡島は、今後とも進取の精神溢れる活気ある土地として栄えることでしょう。

さて、先にも述べたように、本年は道南の雄・函館RC創立70周年の記念すべき年であり、また2005年2月はRI創立100周年という、節目の年であります。これに際し、我々第10グループ各RCに於いても、今一度自らの置かれた状況を見つめ、更なる飛躍の年となることを切に願って止みません。



掲 示 板

ロータリーレートについて

11月のロータリー・レートは、引き続き108円です。

江別西 R C

11月23日(火) 法定休日のため休会

例会の変更について

倶知安 R C

11月3日(水) 法定休日のため休会

岩見沢東 R C

11月23日(火) 法定休日のため休会

室蘭東 R C

11月3日(水) 法定休日のため休会

26日(水) 夜間例会 18:30~

蘭亭(輪西町1-36-1)

千歳セントラル R C

11月16日(火) 創立記念例会(移動例会)

18:30~

エアポートホテル・アネックス

ガバナー月信10月号の記載について

p4 「ガバナー日記」中、江別南 R C は江別西 R C の誤りです。お詫びして訂正致します。

p16 「子ども家庭奉仕委員会委員長を拝命して」の清水昭子会員は新札幌 R C の子ども家庭奉仕委員会委員長です。地区委員会の委員長ではありませんのでご注意願います。

国際ロータリー為替レート通知についてのご連絡

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、毎月の R I 為替レートを R I ウェブサイト上の P D F ファイルにて確認できるようになりました。また、翌月のレートにつきましては、中旬頃に載る予定です。

手順としては、以下のとおりになります。

R I ウェブサイト 日本語 ダウンロードセンター クラブ・地区支援 国際ロータリー為替レート
<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html#support>

以前は、R I レート変更の際に、通知書を葉書にて各クラブ宛てに送付していましたが、今後は、R I ウェブサイト上でご確認していただくようになります。お手数をお掛けしますが、宜しく願い申し上げます。

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel : 03 - 3903 - 3183 Fax : 03 - 3903 - 3781

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

9月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			04.7.1	04.9.30	増減	内女性		
1	深川	3	40	42	2	1	80.34	
	羽幌	4	47	47	0	1	66.31	
	妹背牛	4	10	10	0	0	75.00	
	小平	4	14	14	0	0	62.50	
	留萌	4	59	59	0	0	88.00	
	小計			170	172	2	2	74.43
2	赤平	3	34	33	-1	2	78.50	
	芦別	3	54	54	0	0	82.64	
	砂川	4	54	54	0	0	90.38	
	滝川	4	109	111	2	2	72.00	
	小計			251	252	1	4	80.88
3	美唄	4	42	41	-1	0	89.85	
	江別	4	43	43	0	1	90.24	
	江別西	4	37	36	-1	3	88.88	
	岩見沢	4	94	98	4	0	93.90	
	岩見沢東	3	37	40	3	3	75.48	
	栗沢	5	26	26	0	1	87.69	
	栗山	4	29	30	1	2	95.44	
	当別	3	38	39	1	1	78.63	
	小計			346	353	7	11	87.51
	4	札幌	5	123	130	7	0	97.84
札幌あけぼの		4	16	17	1	1	100.00	
札幌はなます		4	24	24	0	4	76.10	
札幌北		3	49	50	1	5	96.60	
札幌モーニング		5	54	57	3	0	69.25	
札幌西		3	69	70	1	3	90.85	
札幌西北		4	48	50	2	2	92.69	
札幌手稲		4	39	42	3	1	99.41	
小計				422	440	18	16	90.34
5		札幌東	4	125	128	3	0	99.38
	札幌清田	4	26	28	2	5	100.00	
	札幌幌南	4	69	72	3	0	100.00	
	札幌真駒内	4	44	44	0	2	93.17	
	札幌南	3	91	93	2	0	97.08	
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	75.43	
	札幌セントラル	4	19	19	0	8	66.00	
	新札幌	4	36	35	-1	2	93.33	
	小計			429	438	9	21	90.55
	6	岩内	4	33	33	0	0	82.40
倶知安		4	54	54	0	3	70.00	
小樽		4	74	76	2	0	84.81	
小樽南		4	86	85	-1	0	79.24	
小樽銭函		4	23	23	0	2	83.00	
蘭越		4	14	14	0	0	75.00	
余市		5	43	43	0	4	83.30	
小計			327	328	1	9	79.68	

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,136人
 当月末会員数(女性) 3,191(96)人
 増加会員数 55人
 当月平均出席率 81.68%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.9.30	増減	内女性	
7	千歳	4	65	68	3	2	72.40
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	83.40
	恵庭	4	51	51	0	0	79.16
	北広島	4	19	19	0	2	93.06
	長沼	3	18	18	0	3	88.96
	由仁	4	15	15	0	0	78.33
	小計			198	201	3	7
8	えりも	4	24	23	-1	0	86.95
	三石	2	17	17	0	1	61.76
	様似	4	19	19	0	2	55.26
	静内	4	67	69	2	0	80.96
	浦河	4	40	40	0	1	85.63
	小計			167	168	1	4
9	伊達	4	56	59	3	0	78.43
	室蘭	4	51	53	2	0	94.23
	室蘭東	4	43	43	0	0	82.50
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	5	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	4	10	10	0	0	80.00
	小計			236	241	5	4
10	函館	4	101	100	-1	0	78.44
	函館亀田	3	42	43	1	1	79.07
	森	4	43	42	-1	0	79.00
	七飯	4	24	24	0	0	81.20
	長万部	3	13	13	0	0	61.50
	小計			223	222	-1	1
11	江差	4	16	15	-1	0	87.40
	函館五稜郭	4	68	66	-2	0	91.85
	函館東	4	50	59	9	7	80.80
	函館北	4	37	38	1	0	83.11
	上磯	4	29	29	0	3	65.60
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計			209	216	7	11	79.24
12	白老	4	29	29	0	1	72.00
	苫小牧	4	56	59	3	0	78.85
	苫小牧東	4	32	32	0	3	81.22
	苫小牧北	4	41	40	-1	2	81.58
	小計			158	160	2	6
合計			3,136	3,191	55	96	81.68

新入会員のご紹介



野曾原 進
岩見沢 R C
8月27日入会



安田 俊明
岩見沢 R C
8月27日入会



金子 雅
岩見沢 R C
9月3日入会



中野 司
岩見沢 R C
9月3日入会



高橋 雅博
苫小牧 R C
9月17日入会



照井 孝二
苫小牧 R C
9月17日入会



高崎 英雄
岩見沢東 R C
9月21日入会

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、
心からご冥福をお祈りいたします。

松下 勝芳 会員（江別 R C）
2004年10月14日ご逝去（享年59歳）

【ロータリー歴】

1985年2月28日入会
1989～90年度 幹事
1999～00年度 会長
2004～05年度 親睦活動委員長
各委員会委員長を務められました。
1992～93年度（P H F）
1996～97年度（M P H F）
2000～01年度 米山功労者



11月・12月 地区カレンダー

11 月 ロータリー財団月間/世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)		12 月 家族月間	
1 (月)		1 (水)	
2 (火)		2 (木)	
3 (水)		3 (金)	
4 (木)		4 (土)	
5 (金)		5 (日)	
6 (土)		6 (月)	
7 (日)	米山記念奨学生交流会 (札幌市内)	7 (火)	
8 (月)		8 (水)	
9 (火)		9 (木)	
10 (水)		10 (金)	
11 (木)		11 (土)	ローターアクト地区協議会 (函館)
12 (金)		12 (日)	
13 (土)		13 (月)	
14 (日)		14 (火)	
15 (月)		15 (水)	
16 (火)		16 (木)	
17 (水)		17 (金)	
18 (木)		18 (土)	
19 (金)		19 (日)	
20 (土)		20 (月)	
21 (日)		21 (火)	
22 (月)		22 (水)	
23 (火)		23 (木)	
24 (水)		24 (金)	
25 (木)	ロータリー財団地域セミナー	25 (土)	
26 (金)	第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会	26 (日)	
		27 (月)	
27 (土)	第32回ロータリー研究会 (広島)	28 (火)	
28 (日)	第32回ロータリー研究会 (広島)	29 (水)	
29 (月)		30 (木)	
30 (火)		31 (金)	



www.rotary.info

ROTARY

**Celebrating 100 years
of community outreach**



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER